

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)8月18日
所属名:高島農産普及課
番号:H25016
発信者名:山下、三溝



高島地域でクビアカツヤカミキリ防除研修会を開催

7月31日に核果類を生産する農業者および関係機関を対象に、市担当課の協力のもとクビアカツヤカミキリにかかる防除研修会を開催しました。

去る7月14日に県内で初めて特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが確認されたことを受け、当課は周知・啓発のため高島市農林水産部農業政策課とも連携のうえ早急に開催する必要があると判断し、7月31日に防除研修会を開催しました。

本虫は街路樹や敷地内への植栽が多いサクラも加害することで知られ、万が一発生した場合に影響が大きいことから、道路・施設管理者等関係機関に対しても広く開催を周知しました。直前の開催案内にも関わらず、農業者および関係機関の担当者合わせて22名の参加があり、本種への関心と危機感の強さが伺えました。

研修会では、初めに資料に基づき本虫の生態や被害の状況、県内の発生状況とその後の対応状況について説明しました。次に、万が一に発生した場合に備え、本県の防除対策マニュアルに基づき本虫の防除方法等について説明しました。

その後、会場外の街路樹を利用し防除対策の実演を行いました。本虫は発生初期の封じ込めや被害拡散防止にあたっては飛散防止対策(ネット巻き)が重要であることから、実演を通して、実施上のポイントについて解説しました。

当課では引き続き周知・啓発に努め、農業者・関係機関と共に本虫の侵入を警戒し、万が一の場合の早期発見につなげていきます。



生態や被害等について説明



防除対策の実演